※「教室コース」は①②のみ実施

で聞いて、ホルスタイン種の親子と

乳牛とのふれあい体験

乳搾りや哺乳を行い、心音を聴診器

かれあいました。

担当:県内酪農家

JA全農いわて生産指導課

盛岡市

に塗って試食しました。 担当:県内乳業メーカー

バター作り体験 生クリームから作ったバタ

担当: JA全農いわて酪農課

牛乳の飲み比べをしました。 乳牛や岩手県の酪農について学び 、県産 乳牛や牛乳に関する授業

実施校

滝沢市 滝沢東小学校

玉山小学校 仙北小学校 紫波町 杜陵小学校 赤石小学校

北松園小学校 宮古市 軽米町 田老第一小学校

花巻市

軽米小学校 小軽米小学校 若葉小学校

北上市

笠松小学校

黒沢尻東小学校 鬼柳小学校

> 遠野市 鱒沢小学校

大槌町 吉里吉里小学校

葛巻町

学校計24校で実施しました。

は、6月から11月までの間に県内小

教室を開催しています。

令和5年度

醸成を図ることを目的に、

酪農出前

食で飲んでいる牛乳や酪農への理解

岩手県牛乳普及協会は、毎日給

葛巻小学校

一戸町 一戸南小学校

一関市

赤荻小学校 大船渡市

綾里小学校

陸前高田市

高田小学校 米崎小学校

久慈市

平山小学校 小袖小学校

洋野町

角浜小学校

協力乳業メーカー

全国酪農業協同組合連合会 北福岡工場

(株)おおのミルク工房

(一社) 葛巻町畜産開発公社 小岩井乳業(株)

不二家乳業(株)

協力酪農家

中村 亨様

(株)おおばファーム様

一夫様

小関 純一様

協力農協

大船渡市農協

花巻農協

いわて平泉農協

岩手花平農協

酪農家の声

- ●平間 一夫さん 「普段給食で飲んでいる牛乳は地元でとれている。残さずたくさん飲んでくれたら嬉しい」
- 「今回の体験を通して牛乳を好きになってもらい、牛乳をたくさん飲んで元気に育ってほしい」

参加した児童の感想

- ●「バター作りも乳搾りも体験できて楽しかった。酪農家さんに感謝して牛乳を飲みたい」
- ●「今までにない体験ができて楽しかった。もっと牛乳を大切に飲もうと思った」









ご協力 いただいた皆様 ありがとう

ございました!

ひたむきに 純情產地 いわて

いわての畜産と 酪農の魅力に触れる 小学校で出前教室

は養豚への理解を深めてもらうた

た。それに合わせて同専門部会

校へ豚肉2頭分を無償提供しまし

専門部会は、

紫波地域の小・

Aいわて中央畜産部会養豚

いました。

授業では、

わて中

校の3年生を対象に出前授業を行

11月14日に紫波町立古舘小学

たちは目を輝かせて頬張り「豚肉 黒砂糖煮」がメニューとして出さ た豚肉を用いた「しわ豚と大根の れました。給食が出されると児童 養豚について紹介しました。 会副会長)が講師を務め、豚に関 するクイズや飼料の実物を用い 員と同専門部会長の七木田一也氏 (岩手県農協養豚経営者連絡協議 (しあわせ) お29 (にく) 給食」 同専門部会から提供され

紫波町立古館小学校

令和5年11月14日(火)





3 KLARA vol.893 KLARA vol.893 2

ENEWS WIDE ANGLES

● いわて純情むすめが国消国産PR 令和5年10月21日(土)



岩手県食育推進県民大会

岩手県は10月21日、盛岡市のイオンモール盛岡で「岩手県 食育推進県民大会」を開催しました。この大会は、岩手県と岩 手県食育推進ネットワーク会議が、食のイベントを通じて県民 に食の大切さや地産地消の魅力等について知ってもらい、食育 への理解と関心を深めながら、食育活動を全県へ広げることを 目的に、今年度は「岩手うんめえ~もん!!2023グランプリ」と 共催で開催されました。

本会からは2023いわて純情むすめの髙橋美有さんと村中咲 心さんがステージイベントに出演し、岩手県産農畜産物クイズ を実施したほか、JAグループが提唱する「国消国産」について PRしました。村中さんは「国産の農畜産物や岩手県産の食材を たくさん食べて、日本の農業を応援していきたい」と話しました。

大会の最後には、岩手県産牛乳300本を来場者へ配布し、 県産農畜産物の消費を呼びかけました。





● 日本の農協と生産者支援について学ぶ





令和5年10月25日(水) JICA海外研修員訪問

本会は10月25日に、紫波郡矢巾町にある「JA全農いわて 純情産地営農支援センター」に独立行政法人国際協力機構 (JICA)の海外研修員の視察を受け入れました。

JICAでは、参加国の持続可能な畜産開発を推進するため、研 修員が所属するそれぞれの組織で具体的な行動計画を策定する ことを目標として、課題別研修「SDGsに配慮した包括的な畜産 振興の取り組み」を実施しており、福島県西郷村の独立行政法人 家畜改良センターが研修運営を行っています。その研修の一環と して、農協の業務と生産者支援を学ぶため純情産地営農支援セ ンターを視察しました。

営農支援部では、JAと実施する農家手取り最大化の取組み やスマート農業の説明、土壌分析や残留農薬分析などについて 実際に分析機器を見ながら説明を行いました。





フィリピンカラバオセンターで獣医師として働くオルティス・ジェシカ・ゲイさんは、「今回学んだJA全農の活 動内容をフィリピンでもできる範囲で取り入れていきたい。水牛に関する協同組合を立ち上げるための助けと なった」と研修を振り返りました。

その後、研修員たちは本会の岩手山麓コールドセンターや和牛改良センター、そして㈱いわちくを視察し、 牛乳流涌や和牛牛産、食肉流涌について学びました。

最優秀賞「和ヨー折衷 南部パン 令和5年10月26日(木)







令和5年度牛乳・乳製品利用料理コンクール岩手県大会

岩手県やJA全農いわてなどで組織する岩手県牛乳普及協会は10月26日、 「令和5年度牛乳・乳製品利用料理コンクール岩手県大会」を盛岡市西部公 民館で開催しました。

このコンクールは、日常の食生活の中で牛乳や乳製品をより活用して もらうとともに、その定着を図ることを目的としており、今年で42回目を 迎えます。9月に行われた書類審査会で選考された10名が出場し、1時 間以内の制限時間で、各自が考案したオリジナルレシピを作りました。

審査の結果、最優秀賞と優秀賞各1名、優良賞8名が選ばれまし た。最優秀賞を受賞したのは、黒沢尻工業高校2年の齋藤涼太さんが 作った「和ヨー折衷南部パン」。牛乳とヨーグルトを混ぜ合わせたパン



生地に、北上特産の里芋やリンゴ、小豆を包み、砕いた南部せんべいを乗せたことがポイントで、審査委員長の 盛岡大学栄養科学部の木村京子准教授は、「和と洋の融合がおいしいハーモニーを奏でていた」と講評しまし た。齋藤さんは「乳製品は健康にいいだけではなく、料理の発酵にも関わる。乳製品の効果は偉大だと感じた」 と話しました。最優秀賞・優秀賞のレシピは、岩手県牛乳普及協会のHPで公開されています。

● 外山さん・東舘さん名誉賞に輝く 令和5年11月3日(金)







「第13回葛巻町和牛共進会」

岩手県葛巻町のくずまき高原牧場チャレンジハウスで11月3日、葛巻町和牛共進会実行員会主催の「第1 3回葛巻町和牛共進会」が開催されました。

この共進会は、家畜の繁殖と飼養管理技術の改善を促し、和牛農家相互の研鑽と生産意欲高揚をはかるこ とを目的に、平成23年から実施されています。

今回は、町内で飼育されている和牛50頭が出品。出品牛は、経産の有無や月齢によって5部門に分かれ、 盛岡広域振興局農政部長の中村善光審査長とJA全農いわて畜産酪農部和牛登録室の佐々木秋人審査員が 発育状態や骨格、被毛などを審査しました。

最高位の名誉賞には、未経産牛の部で外山昭弘さん出品の「げんぶ」、経産牛の部で東舘直樹さん出品の 「あさひ」が選ばれました。今回名誉賞を受賞した2頭について、佐々木審査員は「げんぶは欠点が少なく綺 麗な牛だった。あさひは3歳以上だが若々しく後方から見た姿が綺麗だった」と評価しました。







2. ガス事業: L Pガス保安体制強化について

L Pガスは便利な家庭用燃料として幅広くご使用いただいておりますが、いったん事故が発生する と、火災や一酸化炭素中毒など、人命に関わる事故につながりかねません。そのため、利用者が安心 してガスを使用していただけるように取り組んでいます。

(1) 販売所への保安立入指導の実施について

当社では、利用者に安心して LP ガスを使用していただくため、販売所における保安管理のさらなる 向上を目的に、県内 JA (関連会社)の販売所に対して、2年に1度保安立入指導を実施しています。

(2) 業務主任者研修・防災訓練の実施について

毎年1回、各販売所の業務主任者に対して保安に 係る研修会を実施し、保安管理の知識習得を図って います。また、防災訓練では、ボンベの破損等によ るガス漏れの対応や充填所での火災の消火訓練を行 うなど、緊急時に迅速に対応できるよう取り組んで います。

(3)「あんしんキャッチ 24」の導入について

利用者宅のガスメータに、伝送装置を取りつけさ せていただき、無線通信網または電話回線により、 ガスの異常な流れ(ガス漏れ・ガスの消し忘れ等)



10/26に実施した業務主任者研修の様子

を管理しています。この「あんしんキャッチ24」の運用をすすめることにより、24時間365日、 ガス事故のない暮らしをお守りしています。

3. 電力事業(IAでんき):「IAでんき」 普及拡大に向けた取り組みについて

現在、県内では「JAでんき」普及に向けて5JA (| Aいわて中央・ | Aいわて花巻・ | A江刺・ | A おおふなと・IAいわて平泉)で取り組んでいます。

昨今の円安や世界情勢による原料高騰の影響から電 気料金・安定供給への不安を感じている方も少なくな いかと思います。そこで、JAでんきを安心してご利用 いただける理由の一部をご紹介させていただきます。

(1)調達方法

JAでんきでは、発電事業者との相対取引による 調達割合を高めることによって(直近では8~9割 程度)、最大限、市場価格高騰の影響を受けないよ う対策を講じています。

(2)トラブル対応

電気のトラブル発生時に 24 時間 365 日サポートす る「JAでんき駆けつけサービス」を導入しています。





INTRODUCTION

全農東北エネルギー株式会社

全農東北エネルギー株式会社は、令和4年7月1日に全農総合エネルギー部より事業移管を受けて、 業務を開始しております。当社は石油・ガス・電気を安定して供給する事で、組合員をはじめとする 利用者の皆様が快適な生活を送れるよう取り組んでおります。

1. 石油事業(JA-SS): QRコード決済の利用拡大に向けた取り組みについて

石油事業では昨年に引き続き、OR コード決済の利用拡大と認知向上を図 るため、主要ペイメント会社が開催して いるキャンペーンに参加しているほか、 IA-SS 独自のキャンペーンも積極的に 開催し、より多くの利用者に OR コード 決済を利用していただけるよう活動して います。本県は、東北の中でも OR コー ド決済比率が高く、他県で約10%未 満に対し15%以上を保っています。

今年度は、ポイント還元キャンペーン 以外にも初の試みとして、決済時にクー

ポンを使用することで割引が適用されるイベントも開催しました。

JA SS 令和5年4月~9月 東北地域 QR決済比率 QRコード決済比率 岩手 全 間 emmanace

全国的にキャッシュレス化が進んでいるなか、石油事業においても、更なる普及に向けて取り組んで

います。皆様もこの機会にぜひ QR コード決済を活用してみませんか? なお、一部の店舗では、取り 扱いが出来ない場合がございますので、最寄りの JA-SS にお問い合わせください。







7 KLARA vol.893

JAいわてグループのアンテナショップとして本会 が運営している「純情ショップ」のおすすめ商品を ご紹介します。



■大関株とのWブランド「ニッポンエール 東北産米100%使用

■商品名:のものも2L東北産米100%使用

■販売価格: 1,188円(税込) ■種類:日本酒 ■度数:13%

全農は、「のものも」を販売する大関(株)とのコ ラボ商品として「東北産米100%使用のものも2L」 を共同開発しました。

新三段仕込みのこだわり仕上げにより、キレ味に 磨きをかけ、米のうま味を感じながらもスッキリとし た後味です。原料となる米の一部は、JAいわて花 巻から供給しています。パッケージ上部のスタンド シールに「ニッポンエール」のロゴを配置すること で、東北の農業を応援していくことを伝えています。



|純情ショップオリジナルボックス 詰め合わせセット

純情ショップでは、純情ショップオリジナルボックスを使用した詰 め合わせセットを販売しております。ご予算や用途に応じたセット提 案も対応しております。お気軽にお申し付けください。

手土産やギフトにぜひご利用ください!



ッポンエールセット 3,000円(稅込)



5,000円(稅込)



《商品発送の場合は、送料を別途頂戴いたします



おつまみセット 3,500円(稅込)

〒020-0022 岩手県盛岡市大通一丁目2-1 ■電話 019-626-8492 純情ショッフ

·平日 10:00~18:30 ·休日 10:00~18:00 ■定休日 第二·第四日曜日



る果物の 常的に食べて で数多く なも へていのん 0 かに 類 あ

や分類に 最近、 となく 食 13 V3 を持 たれ 身近な果樹 た方も

■図2 オウトウ(バラ科サクラ属)



■図1 リンゴ(バラ科リンゴ属)

から品種改良さ キウイン・キウイン・カラ長年 果物で



ブドウ(ブドウ科ブドウ属)

■表1 落葉果樹の分類と主な樹種	
属	樹
リンゴ属	リンゴ
ナシ属	ニホンナシ、セイヨウナ
サクラ属	モモ、スモモ、アンズ、ウン
キイチゴ属	ラズベリー、ブラックベ
ブドウ属	ブドウ
クリ属	クリ
クルミ属	クルミ
カキノキ属	カキ
	属 リンゴ属 ナシ属 サクラ属 キイチゴ属 ブドウ属 クリ属 クルミ属

メ、オウトウ 立ち木 叢生 つる性 立ち木 立ち木 立ち木 マタタビ属 キウイフルーツ マタタビ科 つる性 スノキ属 ブルーベリー 叢生 スグリ科 スグリ属 スグリ、フサスグリ(カシスなど)

9 KLARA vol.893

立ち木 立ち木



畜産酪農部 生産指導課 まらかみ ゆうまび 村上 侑亮さん

◎趣味・特技

野球観戦、バッティングセンター、ドライブ。

◎現在の担当業務

先輩に付きながら、牛の繁殖管理に関する業務を担当しています。 主に牛の直腸検査、妊娠鑑定、発情同期化処置を行っており、受精 卵移植や採卵の補助も担当しています。

(○これからどんな職員になってみたいか)

獣医としての高い技術を持ち、農家さんの悩みや疑問に広く応えられる職員になりたいです。

(◎ その他アピールポイント

牛乳が好きなので、牛乳の生産に直接関わることができて嬉しいです。

Let's try cooking 37

しっとり生地に

リンゴの甘酸っぱさがアクセント!

りんごのガトー・インビジブル

of war with the second of the

|A全農いわての

◆材料(13cm×13cmの角型1個分)

※丸型の場合は直径15㎝の型を使用

- •りんご(小)…2個半
- ※りんごの種類は、酸味があってパリッとしている「紅玉」がベスト。
- ●卵…2個●無塩バター…55g●きび砂糖…55g
- ◆牛乳…80cc◆薄力粉…80g◆レーズン…40g
- ●ラム酒…30cc ●粉砂糖、ハーブ…少々(飾り用)

【下準備】

- ●オーブンを予熱(170℃)で温めておく。
- ❷無塩バターを溶かしておく。
- 3 薄力粉をふるっておく。
- ●生地と混ぜる用のりんご2個分の皮をむき、スライスしておく。
- 6飾り用に使う1/2個分のりんごは、皮つきのままスライスしておく。

♦作り方

- ●ボウルに卵ときび砂糖を入れ、しっかりと混ぜ合わせる。
- 1 に牛乳、溶かした無塩バター、ふるった薄力粉、スライスした2個分のりんご、レーズン、ラム酒を入れ、粉気がなくなるまで混ぜる。
- ❸クッキングシートを敷いた型に②を流し入れ、飾り用の皮付きりんごを少しずらしながら載せていく。
- ◆3を170℃に余熱したオーブンに50分間入れた後、竹串を刺して何も付いてこなければOK!!
- 64の粗熱が取れたら、一晩冷蔵庫に入れる。
- **⑦**⑤を型から出し、カットして銘々皿に載せ、粉砂糖とハーブを 飾って完成。
- ※ガトー・インビジブルとは、焼き上がりの断面が生地とスライスした果物が重なって一体化し、生地と果物の境が「見えないケーキ」という意味のフランスのお菓子。

料理監修

オーナー/佐々木朋美



紫波郡矢巾町又兵工新田第7地割199 くるみアパートメント1F TEL 019-681-7337 Mail tom1123tom@icloud.com https://tom-creperie-deli.com



いわて純情むすめ

活動報告



岩手県食育普及啓発キャラバン

令和5年10月31日(火)

西和賀町の西和賀町立川舟保育所で実施された「岩手県食育普及啓発キャラバン」にキャラバン隊として、 髙橋美有さんと岩槻日菜さんが参加しました。食品ロス削減を題材にした紙芝居の読み聞かせや野菜クイズのほか、食育ダンスを踊るなどの活動を通じて、子供たちに食べ物の大切さを伝えました。





一関ふるさと便「冬の便」出発式

令和5年11月8日(水)

一関市のJAいわて平泉西部営農振 興センターで開催された「一関ふるさ と便『冬の便』出発式」に高橋美有さ んと鷹觜萌香さんが参加しました。

2人は、出発式のアシスタントを務め、JA関係者とともに一関市の特産品をトラックに積み込み、交通安全を祈念してドライバーへ花束を贈呈しました。





第62回農林水産祭「実りのフェスティバル」

令和5年11月10日(金)





東京都で開催された第62回農林水産祭「実りのフェスティバル」に高橋 美有さんが参加しました。 岩手県ブースで県産食材のPRをしたほか、秋篠宮 皇嗣同妃両殿下の御視察のお出迎えをしました。

2023いわて純情むすめInstagram @iwatejunjou_musume



JA全農いわて YouTubeチャンネル







2023年も残すところあと1か月となりました。

私は実家でおいしいご飯を食べて、ぬくぬくと過ごすのが今から楽しみです。

皆様、よいお年をお迎えください! (西川)

KLARA タイトルのKlara(クラーラ)は、宮沢賢治の手帳にしるされている言葉で、エスペラント語で「晴」「暖かい」を意味します。 全農の未来がそして世の中の全てが、明るく晴れやかにという願いが込められています。



私たち全農グループは、 生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋 になります。

- 私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- ■営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- ■安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- ■地球の環境保全に積極的に取り組みます。



〒020-8605 盛岡市大通一丁目2番1号 TEL019-626-8615 FAX019-653-6145 **https://www.junjo.jp**

